

## 「結露のおそれがある箇所の断熱材被覆銅管の保温施工例」

高温多湿により結露のおそれがある箇所では、断熱材被覆銅管にグラスウール保温材等を上巻き処理することで対応します。

なお、上巻き用の保温材で液管・ガス管を共巻きする場合は、液管・ガス管の間に空洞部が生じないように、上巻き用の保温材を断熱材被覆銅管の形状によくなじませます。

### 〈材料及び施工順序〉

1. 断熱材被覆銅管（JCDA 0009：2022）
2. 保温材（グラスウール等）で上巻き  
（1.の形状によくなじませる）

